

# 社会保険料削減・福利厚生の実現 健診項目の充実、健診施設見直しで健康経営も実現 そして企業ブランド向上による健康経営を実現！

## 経営者の皆様へ

### ①一つでも当てはまるか、ご確認ください！

- ✓ 協会けんぽの社会保険料が年々負担増加が気になっている
- ✓ 社会保険は協会けんぽ（全国健康保険協会）だけだと思っている
- ✓ 健康保険証が企業ブランド向上につながるとは、知らなかった

### ②次に、2つの項目が該当するかご確認ください！

- ✓ 健康保険証の色がブルーである
- ✓ 従業員（被保険者数）が10名以上いる



## なぜ社会保険料の削減等が 実現可能なのか！

協会けんぽ  
60%が加入



組合健保に  
切替えると...

組合健保  
16%のみ加入  
例：不動産健保  
IT系健保

協会けんぽ保険料率：  
全国平均9.95% 東京支部 9.98%

保険料率の低い組合健保例  
IT系健保：8.9%～9.2%  
不動産健保：9.0%

組合健保に切替えで保険料が約1%前後の削減が可能！



株式会社ケリー・ソン  
特別顧問 他数社の顧問  
西海 弘紀

・第一種衛生管理者（国家資格）  
・健康経営アドバイザー  
（認定番号20001181）  
・日本健康マスター認定  
（認定番号B0500410）

- ◎ 最大級のスポットコンサルサイトにて実績は70件以上。
- ✓ 大手電気メーカーの健診代行業をゼロから立ち上げる
- ✓ 1万人以上の大手IT企業にて単一健保の立上げに参画
- ✓ 紀尾井町でゼロから健診クリニックの立上げ及び運営
- ✓ 企業の産業医選定等、一気通貫で産業衛生事業のスキームを構築
- ✓ 取締役COOとしてヘルスケア事業のM&Aに従事
- ✓ コンタクトセンターの代表取締役に就任

✓健保切替契約実績： 不動産業4社、製造業1社、サービス業1社、IT企業6社

唯一無二の健康経営戦略アドバイザー

# 協会けんぽからの切替で 経費削減と従業員の所得増を実現！



産業衛生・労働衛生業務を25年間の実績がある弊社顧問が、健康保険組合や健診代行企業との人脈を持ち、貴社の業種にあった組合健保を選定、一気に通貫で実施いたします。単一健保の立上げ経験や健診施設をゼロから立ち上げ運営してきた実績が、健保切替の契約につながっています！

※加入には一定の条件がございます。

## ◎ 健保切替コース

所属の協会けんぽから、保険料率が低く、健診補助の手厚い健保への切替で、

**“年間予算で追加費用なし、経費削減、所得増（従業員）を実現します！”**

### （経営者からの声）

社会保険は協会けんぽだけだと、半ばあきらめていたが、組合健保に切替えることができて、健康経営も進めることができて、従業員の満足度も向上し、中小企業経営者には非常に嬉しい限りです！

### 特長 1 企業の健康保険料の削減

（不動産業A社の場合）

1人当たり年間保険料軽減額：600万円 × **-0.98%** = **5.9万円**

平均年収：600万円

会社の年間保険料削減額：5.9万円 × 50% × 36名 = **約106万円**

従業員：36名

（会社・個人の負担比率は50：50）

協会けんぽ保険料率：9.98% 東京支部

**追加費用なしに、会社・従業員の**

切替先健保保険料：9.0%

**軽減保険料率：-0.98%** **年間健康保険料212万円削減に成功！**

### 特長 2 従業員の所得増と福利厚生の充実

（上記の同様のケースで算出）

従業員の健康保険料負担を減らして、

従業員1人の年間保険料負担減額：

**年間所得が増加！**

5.9万円 × 50% = **2.9万円の所得増**

**賃上げ効果として0.5%のUPを実現！**

**協会けんぽよりも、充実した福利厚生を享受**

⇒高額医療付加金、インフル予防接種補助、スポーツクラブ入会特典、レジャー施設等、優待割引多数あり

### 特長 3 健診費用の負担削減～健康経営の推進～

（上記同様のケースで算出）

**健保によって健診補助の金額、対象年齢が違います！**

※従業員の年齢が全員30歳以上の場合

	協会けんぽ	切替先健保	一人当たりの負担軽減額
35歳未満 (定期健診)	約10,000円 (補助なし)	0円 (補助あり)	<b>約-10,000円</b>
35歳以上 (生活習慣病予防健診)	5,282円 (被保険者のみ)	0円 (被扶養配偶者含む)	<b>-5,282円</b>

# ◎ 保険料率が低い主な組合健保

# ◎ 保険料率が高い主な協会けんぽ支部

## 「保険料率が低い」主な組合健保の例

◎ 組合健保は、全国に254組合

各業種に対しての該当する組合健保が存在しますが、一部の業種は無し

税務会計監査事務所健保	8.20%	自動車振興会健保	9.10%
産業機械健保	8.80%	東京機器健保	9.20%
東京都情報サービス産業健保	8.90%	首都圏デジタル産業健保	9.20%
東京広告業健保	8.90%	通信機器産業健保	9.20%
VCスタートアップ健保	8.98%	東京都土木建築健保	9.30%
東京不動産業健保	9.00%	東京電子機械工業健保	9.30%
全国設計事務所健保	9.00%	観光産業健保	9.40%

## 協会けんぽで「保険料率が高い都道府県支部」

☆ 青字は大都市圏で保険料が高い都道府県（介護保険率は一律1.6%）

	令和6年度		令和5年度		令和6年度		令和5年度
佐賀県	10.42%	↓	10.51%	福井県	10.07%	↑	9.91%
福岡県	10.35%	↓	10.36%	愛媛県	10.03%	↑	10.01%
大阪府	10.34%	↑	10.29%	神奈川県	10.02%	→	10.02%
香川県	10.33%	↑	10.23%	愛知県	10.02%	↑	10.01%
熊本県	10.30%	↓	10.32%	岡山県	10.02%	↓	10.07%
大分県	10.25%	↑	10.20%	宮城県	10.01%	↓	10.05%
奈良県	10.22%	↑	10.14%	和歌山県	10.00%	↑	9.94%
北海道	10.21%	↓	10.29%	東京都	9.98%	↓	10.00%
山口県	10.20%	↑	9.96%	広島県	9.95%	↑	9.92%
徳島県	10.19%	↓	10.25%				
兵庫県	10.18%	↑	10.17%				
長崎県	10.17%	↓	10.21%				
京都府	10.13%	↑	10.09%				
鹿児島県	10.13%	↓	10.26%				

# 健診施設最適パートナー 健保切替と並行して行います！



25年以上に及ぶ産業衛生、労働衛生分野、健診分野の専門知識、人脈を有する弊社顧問が、健診施設と健保へのネットワークを持つ、健康経営戦略アドバイザーが診断を行います！※基本は健保の契約健診施設を選定

## （経営者からの声）

健診施設の言われるがまま、受診していたが、健診最適パートナーを利用して、年間40万円近く削減できて、健診項目も充実して、従業員の健康増進につなげることができました！

## ◎ 貴社の最適な健診施設を選定

年齢に応じた健診項目を受診することで、従業員の健康管理を充実させ、健康増進につながります！

また、施設集約化することで、大幅な効率化が可能です！

“貴社の健診項目、健診料金を見直しませんか！年間数十万円削減例もあります”

## 特長 1 貴社にとって最適な健診施設

- ① 健診施設の質（施設見学も実施可能）※首都圏中心になります。
  - ・選定基準となる、25項目をクリアしている施設（例：日本人間ドック学会認定機能評価の有無等）
  - ・医療機器の充実度（内視鏡の保有台数、内視鏡実績の高い医師、CT等の有無等）
  - ・看護師の8割以上が自社採用（派遣看護師が少数）
  - ・外国人従業員対応（例：英語の問診票、当日の英語対応等）
  - ・特定保健指導の積極的な実施（動機付け支援、積極的支援を最後まで実施可能）
- ② 予約管理
  - ・集約化することでのスムーズな予約管理（受診率100%）
  - ・健診結果の一括管理（CSVデータ等）ペーパーレスの促進
- ③ 受診者のメリット
  - ・短時間で健診が終わり（健診効率）、人間ドック受診者には、クオカード、食事券等のサービス
  - ・オプション項目の充実化（例：腸内フローラ、睡眠時無呼吸症候群等）※健診施設により異なります。

## 特長 2 貴社にあった追加健診項目と仕組み構築

- ① 貴社の従業員の健康管理システムの構築（保健師選定、産業医選定、システム構築等も実施可能）
  - ・男女比、年齢構成から、最適な追加項目を選定（女性、男性特有の項目追加等）  
例：PSA検査（男性）乳がん（マンモグラフィー、乳房超音波、子宮頸がん検査等）
- ② 健診結果の把握（特に二次検査の早期対応、産業医、保健師、衛生管理者と連携）
  - ・要精密検査結果のスムーズな予約が可能（専門の大学病院等）
  - ・要再検査の場合は、弊社連携先の医療機関にて1.5次検査の推進（オンライン診療可能）
  - ・時間短縮が可能になり、受診率の増加

貴社従業員の皆さまが安心して受診いただける健診施設を選定！